



○何でも楽しむ

ひかりかがやく南陽っ子の具体的な姿として「いい顔 いい声 いい心」の実現を目指しているというお話を前回書かせていただきました。もう一つ大切なキーワードがあります。「遊ぶ・働く・学ぶ」です。

「遊ぶ」が一番前にきているのは意識的にそうしています。子供たちは「遊び」の中で、社会性を育み、様々な知恵や技を身に付けていきます。また、授業中に「え？もう終わったの？」という子供たちのつぶやきが聞こえてくることありますが、そんなときは子供たちにとって学習は「遊び」に近い感覚なのだと思っています。「遊ぶ」は昼休みに汗びしょりになって遊ぶということも大切ですが、何でも楽しむことができる心を育てるという意味においても大切にしたいと思っています。

朝、あいさつ運動で校門の前に立って、子供たちとあいさつを交わしていますが、今年度は新型コロナウイルス感染症予防もあって、昨年度までのように握手やハイタッチをしていません。苦肉の策で、今日の運試しとしての「じゃんけん」を始めたのですが、これを結構楽しんでくれる子供たちが増えて喜んでるところです。勝ってすなおに喜び子、あいこで「気が合うね」と笑顔になる子、負けても「いいことを後にとっておこう」とニコニコしながら話す子、様々です。大切なのはじゃんけんを一つのきっかけにして笑顔になったり盛り上がりたりすることだと感じます。最近、一緒に登校する仲間で示し合わせて、私に立ち向かってくる子供たちやじゃんけんのあとにいろいろお話をしてくれる子もいます。

遊ぶように何でも楽しめる南陽小の子供たちがとてもステキです。



○無言清掃

子供たちが安心して学校生活をおくるためには、学校全体がきちんと約束を守って、お互いのことを尊重しようという気持ちをもつことが大切です。何といても教育の目的は人格の完成であり、社会の一員として生きていく力を身に付けることなのであります。

そこで、南陽小学校では少し騒がしくなっていた掃除の取組を見直すことにしました。無言清掃へのチャレンジです。この取組を通して、学校をきれいにすることはもちろんですが、自分で考え動くことや、全体を見渡しながら自分のすべきことを考えることができる子供たちに育ててくれることをねらっています。保護者の皆さんに来校してもらえる日がきたら、ぜひ南陽小学校の新しい自慢としての無言清掃を見ていただきたいと思っています。

